10-18-6 Habikigaoka,Habikino-city,Osaka, Japan
TEL NO.(072)950-5544, FAX NO.(072)950-5545 e-mail : plasmate@nifty.com

取扱説明書

金型温度調節機

＊必ずお読みください

プラスメート株式会社
〒583-0864 大阪府羽曳野市羽曳が丘10-18-6
TEL NO. (072) 950-5544
FAX NO. (072) 950-5545
E-mail plasmate@nifty.com

設置及び取扱説明書

金型温度調節機

本設備設置前に必ずお読みください。

使用上の注意事項

本設備設置に際しては必ずアースを接続してください。
電源は必ず所定の電圧を使用してください。
保守、点検の際には必ず電源を遮断してください。
電源コードは必ず所定の規格品を使用してください。　不適当なものを接続しますと過熱したり電圧降下を生じ、事故、故障の原因となります。
又、本機接続には漏電ブレーカーを必ず設置してください。

本機は直接冷却タイプの金型温度調節機です。
外部よりの冷却水は２Kgf/cm2必要です。
外部よりの冷却水圧力が2 Kgf/cm2に満たない場合は供給水圧不足警報が発生します。

水圧不足

水圧が２Kgf/CM2に満たない場合は本機の最高使用温度は９５度です。

注意　最高使用温度を９５度に再設定するため下記の調整が必要です。

圧力が２Kgf/cm2無い場合は、絶対に９５度以上の設定はしないで下さい。

設定方法

本機上面及び右側面を開き、水圧監視（低圧）スイッチを上部右側プラスネジにて１Kgf/cm2に設定する電源を投入して、警報が鳴らないことを確認する。

１００度以上でご使用になる場合、２Kgf/cm2より低圧には絶対に設定しないで下さい。
故障の原因になります。

次に左側面パネル内側に設置してある、過温防止装置のダイアルを１００度に設定する。

過温防止装置

圧力が２Kgf/cm2無い場合は、絶対に１００度以上の設定はしないで下さい。

＊警告

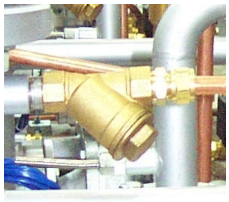
**圧力が２Kgf/cm2無い場合は、絶対に１００度以上の設定は
しないで下さい。**

外部冷却水圧力が２Kgf/cm2ない場合は絶対に９５度以下にて使用して下さい。大変に危険です。

最高使用温度より高温にて使用された場合の故障及び事故は免責とさせていただきます。　最高使用温度以下で使用してください！！。

供給水圧２Kgf/cm2の場合　１２０度　　未満の場合　９５度です。

外部フィルター及び本体内のヒーター
ジャケット側面に配置してあります
Ｙ字ストレーナーは
定期的に清掃してください。
めずまりをすると故障の原因に
なります。



外部フィルター　　内部ｽﾄﾚｰﾅｰ

本機は標準装備ではﾎｰｽは付属致しておりません。

金型への配管は必ず使用温度に対して適切な耐熱ホースをご使用ください。　当社はテフロンホースを推奨申し上げます。
又、ご使用時にホースに傷、亀裂、ひび割れ等、漏れが発見された場合は速やかに、使用を中止して交換してください。

本機各部よりの漏水、オイル漏れは必ず毎日点検してください。
点検時、漏水、オイル漏れが発見された場合は即座に使用を停止してください。

受け入れ時の点検

当社機器は工場出荷時に品質及び機能検査を実施して発送しておりますが、輸送中に不慮の破損が発生する場合があります。
受け入れ時には下記の点につき点検してください。

１．　外部に損傷がないか点検してください。
２．　各部締め付けボルト・ナットに緩みが発生していないか点検してください。

設置・配線・配管について

本機の冷却水配管（入り、返り）に耐熱ホースにて冷却水を接続してください。　金型への供給配管に耐熱ホースにて配管してください。
冷却水配管の返り側は高温になる恐れがありますので必ず耐熱ホースを使用してください。）

警告
使用温度に対して適切な耐熱温度のホースを使用しないと大変危険です。

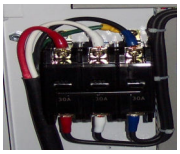
運転準備、　取り扱い使用上の注意事項

ケーブルを電源に接続してください。　本機は２００Ｖ／２２０Ｖ　50/60仕様です。

本機使用時は一次側に３０Ａの漏電ブレーカーを必ず設置してください。
アースは必ず接地してください。

ブレーカーＯＮ

本体に冷却水が供給されていることを確認の上
本機本体内部のブレーカーを投入してください。


ﾌﾞﾚｰｶｰ

逆相

ﾌﾞﾚｰｶｰをＯＮ下後、操作パネルの
逆相検知ボタンが点灯した場合は
１次側にてＲ相とＴ相を入れ替えて
接続して、再度ﾌﾞﾚｰｶｰを投入して下さい。

ポンプモーター　ＯＮ

操作パネルのポンプ回転スイッチ
をＯＮにするとポンプモーターが
回転し、本機と金型間で温調水が
循環されます。　本機背面の圧力ゲージにて水圧が上昇していることを
確認して下さい。

操作パネル

ヒーター投入
ポンプスイッチがＯＮでないとヒーターは入りません。

本機操作パネルの温調器に温度を
設定してください。　温度設定後、
ヒータースイッチをＯＮにすれば
温度調節が開始されます。

温調器

金型への配管、供給

金型への配管、本機への冷却水の配管を再度確認してください。

本機の媒体供給口及び返媒口を設定温度に対して適正な耐熱性を有したホースにて接続してください。　当社推奨のホースはテフロンホースです。　又、ユニオンにて接続を推奨致します。

以上で運転準備は完了です。　再度ホース及び本体からの漏水、油漏れがないか点検の上、金型への行き帰りのバルブを開けご使用ください。

漏水が確認された場合は、即刻使用を中止し、温度が下降した後接続を補修し再度運転を開始して下さい。

漏水している状態での運転は非常に危険なため絶対におやめ下さい。

警報スイッチ

本機操作パネルの警報スイッチをＯＮにすると、異常発生時ブザーが鳴ります。　ＯＦＦにすると警報ランプが点灯するだけでブザーは鳴りません。

I

本機停止時の注意

本機停止時は必ず次の注意を厳守して下さい。
機械の寿命に大きく影響します。

ヒーターを切り、本機媒体温度が４０度以下になってからポンプを停止して下さい。

危険
過温防止装置は必ず適切に設定してください。
火災防止機能が働かなくなります。

注意！　！
高温になればなるほど、漏水等のトラブルが発生したおりの火傷の危険が多くなります。　又、配管及びヒータージャケット、冷却ジャケットの耐久性が低下します。

本機に冷却水を供給しないでは絶対に使用しないでください。

表示ランプ

1　ポンプモーター運転
2　冷却中
3　ヒーター加熱中

4　ポンプモーター逆相
5　水圧不足
6　ポンプモーター過負荷

保守・点検

注意！！
本機保守点検を行う場合、必ず本電源を１次側にて遮断してください。　又、媒体温度を４０度以下に下げた後に行ってください。

必ず、火傷、感電のための保護手袋をした後点検を実施してください。

１）本機の本体内及び配電盤内はクリーンに又乾燥した状態に保ってください。
湿気及びほこり等は故障、事故の原因となります。

２）ホース及び配管にひび割れ、傷、漏水等がないか毎日点検してください。

３）冷却ファン、冷却水の循環の動作確認を実施してください。

４）配線の劣化ひび割れの点検を実施してください。

５）Ｙ型ストレーナーの点検清掃を実施してください。

６）ｿﾚﾉｲﾄﾞﾊﾞﾙﾌﾞの点検
清掃を定期的に実施
して下さい。

７）３ヶ月毎及び長期停止時は必ず本体内の媒体
を本体背面下のドレーンより抜き取って下さい。

保証期間

納入後１年間

保証内容

上記期間中、当社に責のある故障に付返送いただければ、無償にて修理いたします。　その際の輸送費及び修理費は当社にて負担いたします。

ただし、次の事項は保証範囲外といたします。

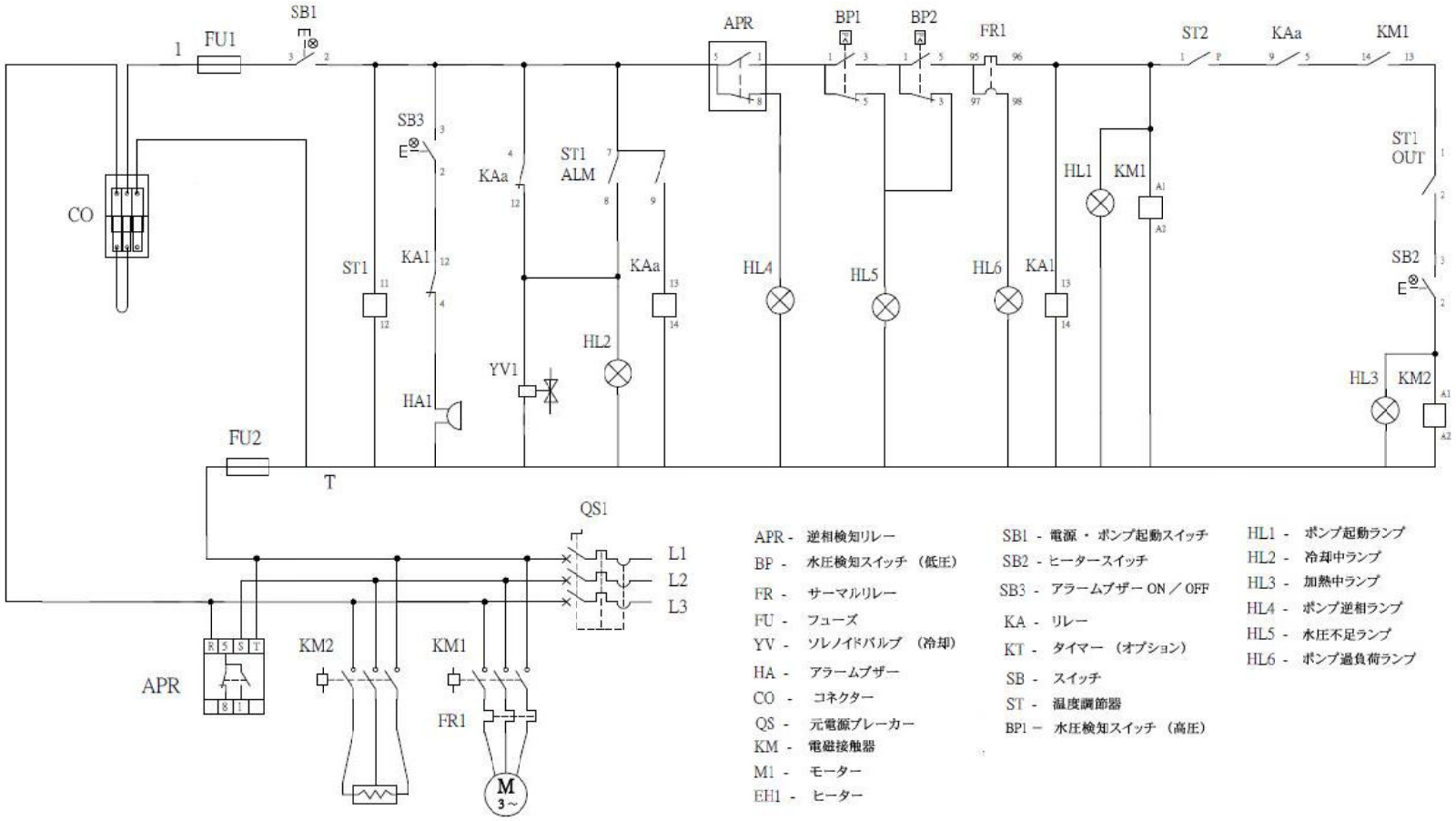
使用者側の不適当な取り扱い、使用により発生した場合。
故障原因が納入品以外の理由により発生したもの。
当社以外での改造。　再調整された機器
保証期間でも第三者に譲渡または貸与されたもの。
同一敷地外に移設された機器
その他、天災、災害等当社に責のないもの。

売り切り販売条件にて販売した機器、日本国外に販売もしくは
持ち出された機器

尚、納入品の故障により発生した２次損害は保証外とさせて頂きます。

以上

プラスメート株式会社



APR - 逆相検知リレー
BP - 水圧検知スイッチ （低圧）
FR - サーマルリレー
FU - フューズ
YV - ソレノイドバルブ （冷却）
HA - アラームブザー
CO - コネクター
QS - 元電源ブレーカー
KM - 電磁接触器
M1 - モーター
EH1 - ヒーター

SB1 - 電源・ポンプ起動スイッチ
SB2 - ヒータースイッチ
SB3 - アラームブザー ON／OFF
KA - リレー
KT - タイマー （オプション）
SB - スイッチ
ST - 温度調節器
BP1 - 水圧検知スイッチ （高圧）

HL1 - ポンプ起動ランプ
HL2 - 冷却中ランプ
HL3 - 加熱中ランプ
HL4 - ポンプ逆相ランプ
HL5 - 水圧不足ランプ
HL6 - ポンプ過負荷ランプ

JW-1210F PLASMATE YAMATKE